

地域づくりレポート < 04 - 8& 9月度レポート >

テーマ：「河川」

報告者：黒沼貞志

今回のテーマは「河川」ですがこのテーマをトリガーに貴省が管掌する領域に共通する範囲まで広げてみたいと思います。

貴省の管掌は環境領域に関わることが多いと認識しております。そういった意味で「河川」をトリガーにした「環境リレーションマップ（仮称）」といったような相関図があれば有効かと思えます。

小職の勉強不足でしたら（既に存在している）ご教示願えますと幸甚です。

1. 環境リレーションマップのイメージ

(1) インフラとしての「河川」：

(a) ダム（発電 防災・・・）

(b) 物流

(2) 自然保持&循環の役目としての「河川」：

(a) 山（森林）資源の維持 海洋資源（魚介類など）の維持

(b) 土砂 海浜（河口領域）の環境保全

(c) 動植物生態系維持全般

(3) 「河川」本来の水産資源維持：魚介類、その他

(4) その他



これらの括弧を横軸とした場合、縦軸が「現状」「問題」「課題」「対処方策」「実現状況」・・・などで構成されるマトリックスのリレーションマップになるようなイメージです。

こういった相関図（リレーションマップ）が作成できると全体像が概観でき、且つ、個々の部分の関係者が実施している活動の把握と夫々がどのようにリンクしているかが容易に把握でき、全体を管理する立場のマネジメント層の管理ツールになると思えます。

かつて在職していた企業（エンジニアリング業界）では、内容と使用目的が少し異なりますが「プロジェクトマネジメントスキル& ツールとして『WBS（ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー）』」とっております。

ご興味がおありでしたらご紹介させて戴きます。

2. 環境リレーションマップの作成要領

これまで貴リポーター活動や諸活動関係者とのコンタクトなどを通じて勉強不足ながら河川に関わる情報入手をしております。それらから感じることでありますが、それらは「ゴミ」「景観」「フットサル」・・・などの個々の切り口（領域）ごとの活動や情報という認識を持っております。

手前味噌の事例で恐縮ですが、現在（9月から来年2月まで）山形県生涯学習文化財団殿の委託事業「地域づくりグループ連携広域学習事業」の実行委員会事務局長をしております。

この受託事業で企画 & 実施している内容の特異点は従来の講座で実施されている環境・福祉・子育て・・・といった個々のテーマ・領域・視点を横断的に網羅する講座企画になっている点です。

そして講座テーマ名は「～実践的手法から学ぼう～ これからの地域づくりの潮流・課題・解決（しくみづくり法）」となっております。

2市町村に跨る5団体（夫々異なる領域で自立して地域活動を実践している団体）の実行委員会（コンソーシアム？）の協働にて運営しております。

しかも、その内容は従来の講義スタイルではなく添付PDFファイルに有りますように実践協働ワークショップ型となっております。

環境リレーションマップも上記のような方法にて、つまり、1項の縦軸に例示した領域に関わる活動される諸団体の連携協働により調製できると考えた次第です。

以上